

DATA FILE



等軸晶系

名前	SODALITE (ソーダライト) / 方ソーダ石
化学組成	$\text{Na}_4\text{Al}_3\text{Si}_3\text{O}_{12}\text{Cl}$
色	青色、緑色、灰色、赤紫色、ピンク色など
光沢	ガラス光沢
蛍光	赤みがかったオレンジ色
条痕	白色
劈開	なし
断面	貝殻状
硬度	5.5-6
比重	2.3

ほう せき

方ソーダ石

SODALITE

方ソーダ石は、金属元素のナトリウムとアルミニウム、非金属元素のケイ素、酸素、塩素からできている。

カナダのオンタリオ州で産出した、方ソーダ石の集合体。白い部分はアルカリ長石。

ガラスのような光沢を持ち、素焼きの陶板にこすりつけると白い条痕が残る。

ブラックライトを当てると、赤みがかったオレンジ色の蛍光を示す。

単独の方ソーダ石で、宝石や装飾品などに使用できる大きさのものが産出することは希である。

希塩酸の中に入れると、溶けてゼリー状になるのが特徴。

晶系は等軸晶系で、十二面体や大きな塊、小さな粒状で見つかる。



単独の鉱物名と鉱物グループの総称

金属元素（ナトリウム、アルミニウム）と非金属元素（ケイ素、酸素、塩素）で構成されている方ソーダ石は、青色、緑色、灰色、赤紫色、ピンク色、白色、黄色など、さまざまな色であられ、特に美しい青色のものは「プリンセス・ブルー」、硫黄を含んだ赤紫色のものは「ハックマナイト」と呼ばれている。

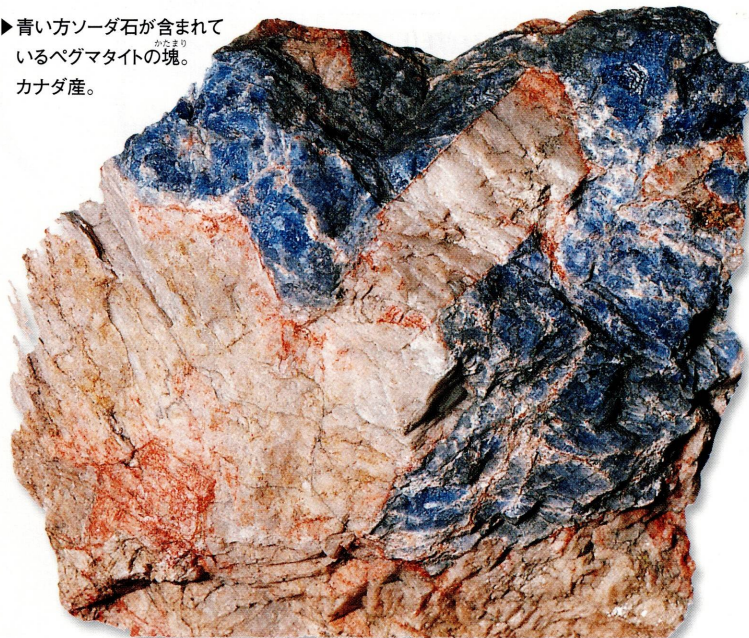
かすみ石^{いしせんちやうがん}閃長岩^{せつちやうがん}などのようなアルカリ火成岩^{かせいがん}中に、かすみ石やキャンクリナイトと一緒に見られることが多いが、シリカの少ない火成岩と石灰岩との間で反応してできたスカルン中に形成される場合もある。なお、「方ソーダ石」という名称は、単独の鉱物名であるとともに、ラズライト、アウイン、ノゼアンなどが属する鉱物グループの総称としても使われる。

ホ
方
ソ
ー
ダ
石

混同されやすいラピスラズリ

方ソーダ石とラピスラズリは、見た目が似ていることから混同されることが多い。しかし、鉱物である方ソーダ石に対し、ラピスラズリは方ソーダ石、ラズライト、アウイン、ノゼアンといった数種の鉱物からできている岩石の一種である。

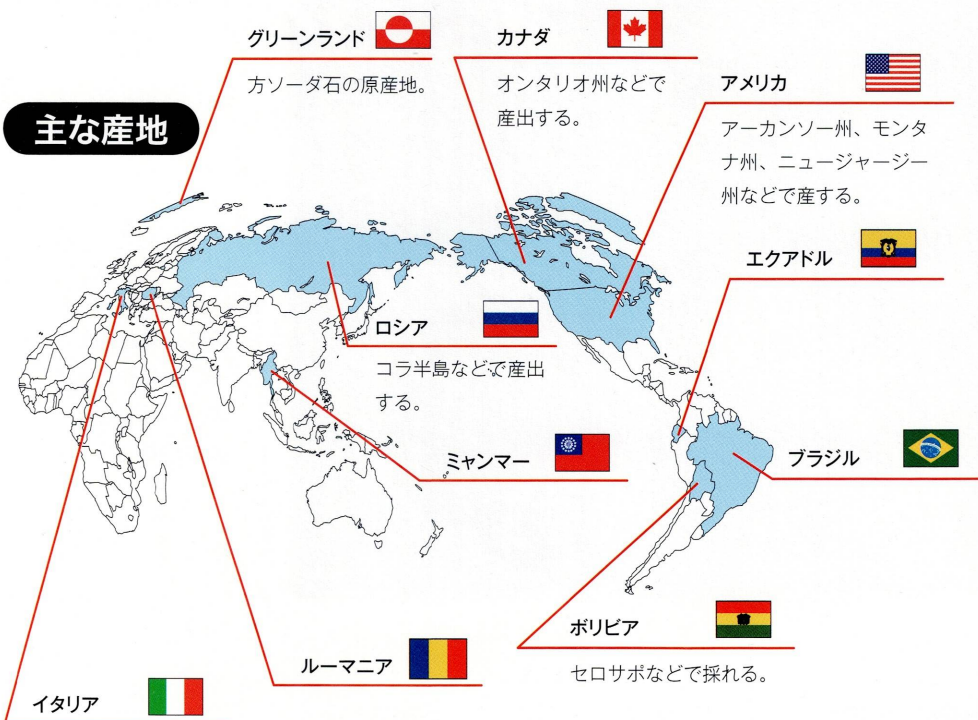
▶ 青い方ソーダ石が含まれているベグマタイトの塊。
カナダ産。



▶ カボション・カットされた方ソーダ石。



主な産地



▶ 普通輝石と一緒に産出した白い方ソーダ石。イタリア産。

